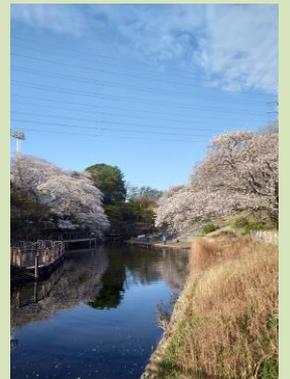


「自助」「共助」「協働」で災害に強い街づくりをめざそう！ 岸根町町内会自主防災だより（第32号）

2025年（令和7年）4月 自主防災部発行

3月15日（土曜日）岸根倶楽部で、港北消防署杉村小机出張所長の指導で普通救命講習が開催されました。20名の募集に17名の皆様に参加して頂きました。講義では、横浜市消防局の救急活動状況など詳しく聞くことが出来ました。港北区の救急車の台数、最近は救急要請が多く、救急車到着までには、時間がかかることなども学びました。



このような状況で、救急車到着までの間に、現場に居合わせた時、自分でやるべき応急手当の必要性が理解できました。

講義の次には、実技指導です。

急病人発生時の対応では、①呼びかけや普段通りの呼吸状態の有無での初期対応、②救急車の要請、③場合によっては胸骨圧迫など、人形を使いAEDの取り扱いを学びました。消防団の岩田正吾さんには、訓練指導をして頂きました。

1階の会場では、けが人発生時の応急手当てです。大出血時の止血処置、地震発生時に多い傷の処置では、三角巾の取り扱い訓練でした。たたみ三角巾の作成方法、頭頂部や額の手当てなど、お互いにペアとなりマスターしました。また、骨折時の固定方法なども学びました。

講習会が修了し、受講参加者17名全員に、「普通救命講習修了証 I」を杉村小机出張所長より受取りました。参加者全員がとても有意義な講義で、いざという時に役に立てるようにさせていただきますという声を多く聞くことができました。岸根町町内会の防災リーダーとして、皆様のご協力をお願いして解散しました。貴重なお休みに、講習会に参加して頂き、感謝申し上げます。

これからも、このような講習会を企画しますので多くの皆様の参加をお願いします。